

南房総モミ希少個体群保護林

希少-83

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 千葉森林管理事務所
所在地	千葉県 夷隅郡
面積	5.56ha
設定年	1990(H2)年
保護林の概要 (設定目的)	モミを主体とし、スギ、アカマツ等の針葉樹にカシ、シイ、シデ類やヤブツバキ、カエデ類等の広葉樹が混交する房総半島南部の代表的な天然林であり、学術上貴重である。このため、モミを主体とする群落の希少な個体群を保護するため設定した。



モニタリング調査概要

実施年度	2008年、2013年、2018年、2023年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、暖温帯性群落の代表的な林分に計2か所の調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測および植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	老齢のモミについては、健全な状態で維持されているが、次世代を担う低木や稚樹は確認できなかった。前回調査時よりも植被率および下層植生の植物種数も減少しており、シカあるいはキョンの過食圧がさらに高まっていることが推察される。 ウラジロガシやアカガシにナラ枯れ被害木が認められたことから、シカ対策の実施とあわせてナラ枯れ被害にも注視していく必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。